

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月13日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	34130
政策名 (章)	第4章 広域交流都市を形成します	評価担当課	企画部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 魅力ある広域交通拠点の整備		企画政策課
施策名	高次都市機能の集積	課長名	田所直久

1 施策の概要・目的

企業本社など中枢業務機能の誘致やコンベンション機能の充実を図ること。

2 施策の現状

中枢業務機能誘致に向けたしくみづくりや立地環境の整備及び話題性のあるイベント、コンベンションの誘致、開催。

※企業本社機能等の都心への回帰が進んでいるのが、課題になっている。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

0

千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

0

円/人……人口は、61.6万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 123 番目です。

(4) 施策に要している人員

0

人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標	
			現状	0	50	100	目標年度
指標1	中枢業務機能等の誘致に向けたしくみづくり検討	しくみづくりの検討状況	現状	0	50	100	目標年度
			目標	1	計画	単位	22
指標2	コンベンション機能の充実	コンベンション機能の充実状況	現状	0	50	100	目標年度
			目標	1	施設	単位	22
指標3	話題性あるイベント、コンベンションの誘致、開催	誘致、開催状況	現状	0	50	100	目標年度
			目標	1	事業	単位	22
							達成度
							0%

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

構成される事務事業がないので記述しにくいですが、都心に1時間以内の交通圏域にあり、IT技術等の進展もあることから、今後本市としての必要性は、それほど高くない。

6 有効性…期待される効果があがっているか

構成される事務事業ないため、有効性を記述できない。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

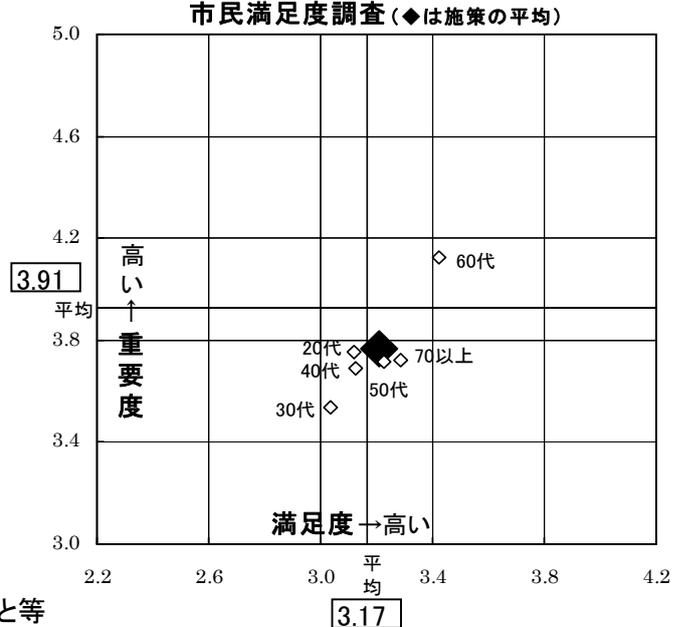
構成される事務事業がなく記述しにくいですが、今ある本市の企業等の特性を生かすような施策を展開していくことが重要である。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

◆この施策の満足度は、3.209で、調査した51施策の中で22番目です。
 ◆この施策の重要度は、3.764で、調査した51施策の中で35番目です。

◇年齢別にみると、満足度及び重要度ともに60歳代で飛び抜けて高く、30歳代で最も低くなっている。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)



9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

- ・企業本社機能の都心回帰
- ・IT技術の進展
- ・長引く景気低迷

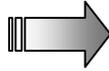
10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向

拡充する

現状維持する

見直し



説明及び具体的内容

バブル後の経済情勢、本社機能の都心回帰、IT技術の進展など、社会経済の環境が変化しており、今後については、本市の地理的特性等を生かし、焦点を絞るなどして、内容の見直しが必要である。

11 2次評価

説明

A

B

C

経済情勢などを考慮し、既存の拠点地域を基本とした都市機能の整備を検討すること。

12 外部意見

説明

広域交流拠点都市としての都市機能の向上や魅力づくりにつながるような事業展開を図る必要がある。

